



人身御供を囲んで鳥居から本殿へと向かうゴクカキ

雨の中、今年も豊作、無病息災を祈願

3/25 初午祭り

市無形民俗文化財の伝統行事「初午祭り」が山区の稲荷神社で行われました。早朝6時30分、ゴクカキと呼ばれる男衆8人が、神社脇のみそぎ場で身を清めた後、人身御供役の高崎結衣ちゃん(2歳)を囲んで、神社の鳥居から本殿まで向かいました。

この日はあいにくの雨でしたが、早朝からたくさんの区民が集まり、五穀豊穡、無病息災を祈願し、神事を見守りました。



人身御供役の結衣ちゃん

今年は豊作です

4/1 黒河マナまつり

山区の春の風物詩となった黒河マナまつりが行われました。

昨年は、天候不良で、残念ながら祭り自体が中止になってしまいましたが、今年は、例年に比べてもたくさん実りました。

オーナーの皆さんや参加者の皆さんは、前日の雨でぬかるんだマナ園で、マナ摘みに奮闘していました。

会場はお客さんで一杯になり、地元の野菜で作った漬物やマナの入った「マナおやき」は大人気、売り切れが続出するほどでした。



きれいなマナをたくさん摘みました。

赤崎最終処分場

完成!

赤崎区に建設されていた一般廃棄物の最終処分場が完成し、3月28日に落成式が行われました。式では、河瀬市長が式辞を述べた後、土地提供者などに感謝状を贈呈。最後に処理施設前でテープカットを行い、完成を祝いました。

処分場の埋立面積は6,150平方メートル、埋立容量は約50,000立方メートル。年間ごみ排出量を4,200トンと試算し、12年間の受け入れを予定しています。

今まで使われていた櫛川処分場は、3月いっぱい埋立が終了。4月1日からは、新処分場で受け入れが開始されます。処分場には、市清掃センターで焼却後セメントで固められた灰や、家庭から出る埋立ゴミなどの一般廃棄物が、1日トラック5、6台分運ばれてきます。

街角スケッチ

ホームページ (<http://www.ton21.ne.jp/>) でも公開中!
(ここに載せきれなかったイベントも掲載しています)

あなたが写っていたらご連絡ください。写真を差し上げます。

広報広聴課 ☎22-8112



職員からお祝いの花束を受け取る多田さん夫妻

祝! 100万人!

3/9 リラ・ポート入浴者100万人達成

市の温泉施設「敦賀きらめき温泉リラ・ポート」が入浴者100万人を達成し、館内で記念セレモニーが行われました。

見事100万人目に訪れたのは、市内在住の多田進さん美智子さん夫妻。職員から100万人目を知らされた多田さん夫妻は、花束での出迎えにとっても驚いた様子でした。その後、館内で市長や運営企業の関係者らが出席してセレモニーが行われ、多田さん夫妻への記念品の贈呈、来館者を対象とした公開抽選会が行われ、100万人達成を祝いました。

誓いを胸に学び舎から巣立ち

3/10 市立看護専門学校卒業式

第11回の市立看護専門学校の卒業式が同校で行われ、3年間の学生生活を終えた30人(女28・男2)が学び舎を巣立ちました。1人1人に卒業証書が手渡された後、高橋学校長が「看護の現場は非常に厳しい状況であるが、自立した看護師を目指し、日々研鑽を積んでください」と激励。卒業生答辞では、東川恵莉子さんが自らの実習の体験談など3年間を振り返りながら「これからは多くの経験を積み、温かい心を失わず看護師として成長していきたい」と誓いを述べました。



答辞を述べる東川さん



学校長から卒業証書を受け取る卒業生



パントマイムで悲しい恋愛物語を表現しました。

まちが音楽であふれました

3/17 港都敦賀芸術村物語

JR敦賀駅から敦賀港までの街中を音楽と触れ合い、楽しみながら歩く、市民協働・参加型の社会実験イベント「港都敦賀芸術村物語 第一章 それは音楽で始まる」が開催されました。当日は、駅前広場の特設ステージや各商店街でアマチュアバンド12組の演奏やカツ丼の早食い大会、きらめきみなと館での中高校生による吹奏楽やマーチングが行われました。またメイン会場である市民文化センターでは、ジャズの名曲に合わせたオリジナルの脚本による舞台や、敦賀市出身の国際的ジャズダンサー三代真史さんのダンスが披露されました。5月には、第二章として手しごとのモノが集まるクラフトマーケットを予定しています。